

政策形成実践研修

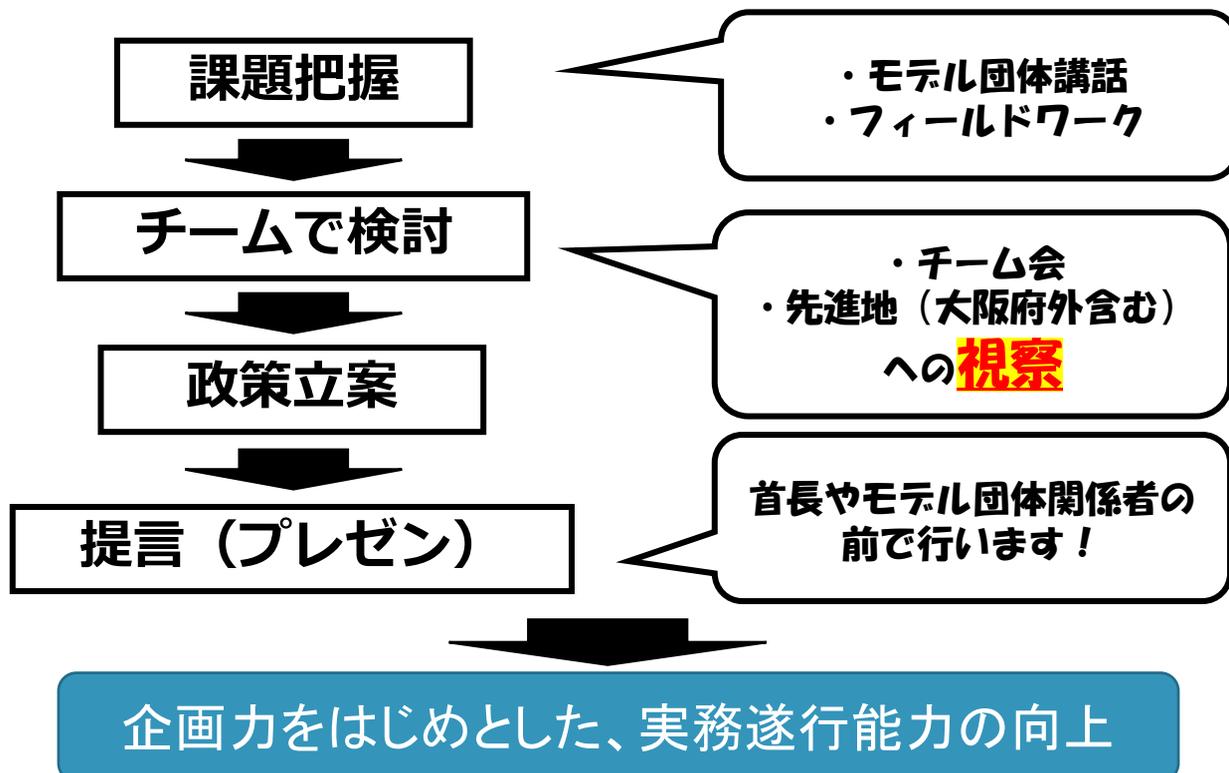
モデル団体（府内市町村）を選定し、当該地域における課題の把握や調査検討をチームで進めながら課題解決のための実践的な政策提言を行うことを目的とした研修です。

※詳しい内容は裏面の研修日程表をご確認ください。

こんな方にオススメです

- ☑ 政策の企画立案をしてみたい方
- ☑ 今持っている知識・経験を試したい方
- ☑ 他団体の職員とネットワークを広げたい方
- ☑ 課題発見・検討を現場でやってみたい方
- ☑ 所属団体を良くしたいと志を持っている方

研修イメージ



■講師：牧瀬 稔 氏

関東学院大学法学部地域創生学科教授
社会構想大学院大学特任教授

専門は自治体政策学、地域政策、地方自治論、行政学で、市区町村のまちづくりや政策形成に広くかかわっている。

<講師略歴>

法政大学大学院人間社会研究科博士課程修了。博士(人間福祉)。民間シンクタンク、横須賀市役所(横須賀市都市政策研究所)、(公財)日本都市センター研究室(総務省所管)、(一財)地域開発研究所(国交省所管)を経て、2017年4月に、関東学院大学法学部地域創生学科に勤務し、現在に至る。関東学院大学社会連携センター長、関東学院大学地域創生実践研究所長、社会構想大学院大学コミュニケーションデザイン研究科特任教授等を兼務している。JTBコミュニケーションデザイン、読売広告社、ベネッセコーポレーション等のアドバイザーも経験している。



<主な公的活動>

- [政策アドバイザー]
北上市、日光市、ひたちなか市、東大和市、新宿区、焼津市、西条市、太子町議会など
- [審議会等]
・相模原市緑区区民会議委員(会長)
・逗子市民参加制度審査会委員(会長)
・相模原市シビックプライドの推進に関する検討委員会委員(会長)
- ・子ども家庭庁自治体こども計画に関する調査に係る有識者など多数

● 政策形成実践研修 ●

実施期間	令和7年5月22日・5月23日・6月13日・7月11日・9月中旬・10月17日・11月26日 12月12日・令和8年1月23日（政策提言プレゼンテーション）		
対象者	全職員（特に入庁5年以上の職員）	定員	10人
目的・内容	モデル団体の地域課題を解決するために、最終回にはモデル団体に対して具体的な政策提言を行う。フィールドワークやチーム会を通じ、政策形成能力を習得し、自治体職員に必要である企画力を始め、様々な実務遂行能力の向上を図る。		
講師（敬称略）	関東学院大学法学部 地域創生学科 教授 牧瀬 稔		
	10:00	12:00	13:00
第1回	5月22日（木）	【講義】 課題発見の視点 政策づくりの視点 政策情報の収集と活用	
第2回	5月23日（金）	首長より講話 モデル団体の概要説明	【ワーク】 モデル団体をフィールドワーク （課題検討等）
第3回	6月13日（金）	【講義】 政策づくりのフレームワークとは	【ワーク】チーム会① 前年度受講生からのヒアリング 情報収集や分析
第4回	7月11日（金）	【ワーク】チーム会② 視察先の検討、課題解決に向けた政策案の検討	
第5回	9月中旬	【ワーク】チーム会③ 先進地等への視察	
第6回	10月17日（金）	【講義】 プレゼンテーションとは	【ワーク】 講師によるプレゼン指導、政策の具体化
第7回	11月26日（水）	【ワーク】チーム④ プレゼン資料の作成準備	
第8回	12月12日（金）	【講義】【ワーク】 プレゼン練習・プレゼン資料の微調整	
第9回	令和8年 1月23日（金）	プレゼン練習（リハーサル）	政策提言プレゼンテーション

（備考）

- ①第2回のみ終了時間が17時半までとなる場合があります。
- ②チーム会については、研修生のみで集合し、調査や政策検討、プレゼンテーションに向けた資料作成等を行います。実施内容はチーム内で決定します。また、研修準備のため、研修日以外に各チームで自主的に集合し、作業を行うことがあります。
- ③研修日程等は、進捗状況により変更になる場合があります。
- ④第2回、第9回については、モデル団体にて実施します。
- ⑤状況に応じてオンラインにて実施する場合があります。

締切は5/2（金）！
研修担当課まで
お申込みください！



本研修に関するお問い合わせは、下記までお願いします。
公益財団法人 大阪府市町村振興協会 研修研究部(マッセOSAKA)担当：
E-mail: center-tr@masse.or.jp TEL: 06-6920-4565